



平成30年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月22日

上場会社名 株式会社ヤガミ

上場取引所 名

コード番号 7488 URL <http://www.yagami-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 長谷川 和久

TEL 052-951-9251

四半期報告書提出予定日 平成29年11月30日

配当支払開始予定日

平成30年1月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年4月期第2四半期の連結業績(平成29年4月21日～平成29年10月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第2四半期	4,084	6.2	596	10.1	602	8.0	382	6.1
29年4月期第2四半期	3,845	1.7	541	4.2	557	6.1	361	8.3

(注) 包括利益 30年4月期第2四半期 407百万円 (8.4%) 29年4月期第2四半期 375百万円 (6.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第2四半期	73.00	
29年4月期第2四半期	68.81	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第2四半期	13,700	10,252	72.1
29年4月期	13,244	9,903	72.0

(参考) 自己資本 30年4月期第2四半期 9,872百万円 29年4月期 9,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期		6.00		11.00	17.00
30年4月期		6.00			
30年4月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年4月期の連結業績予想(平成29年4月21日～平成30年4月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	1.3	1,087	0.5	1,100	0.9	685	0.3	130.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年4月期2Q	6,801,760 株	29年4月期	6,801,760 株
期末自己株式数	30年4月期2Q	1,556,099 株	29年4月期	1,555,549 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年4月期2Q	5,246,193 株	29年4月期2Q	5,246,841 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、エレクトロニクス関連市場を中心に産業用機器の販売が好調だった他、学校向け設備家具の納入が第2四半期より活発化したことから理科学機器設備の分野でも前年実績を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高40億84百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益5億96百万円（同10.1%増）、経常利益6億2百万円（同8.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億82百万円（同6.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

理科学機器設備

学校校舎改修工事に伴う実習台や収納戸棚類の受注が夏期に入ると大きく伸長するとともに納入も増えました。また、食品、製菓業界向けを中心に滅菌器の国内販売が好調だったことから、売上高は23億60百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益は3億48百万円（同10.4%増）となりました。

保健医科機器

学校向け健康診断器具や保健室消耗品の販売が堅調に推移したものの、AEDの販売における新規並びに更新需要の伸び悩みと販売競争の激化により、売上高は8億65百万円（前年同期比3.8%減）、セグメント利益は1億47百万円（同11.8%減）となりました。

産業用機器

国内の半導体製造企業向けを中心に保温・加熱用電気ヒーターの販売が伸張した他、東アジアを中心に海外における環境試験装置の需要が増加した結果、売上高は8億58百万円（前年同期比20.8%増）、セグメント利益は1億7百万円（同40.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は137億円となり、前連結会計年度末に比べて4億56百万円増加しました。これは主に、有価証券及び投資有価証券が3億13百万円、電子記録債権が1億54百万円増加したこと等によるものであります。負債は34億48百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億7百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金が77百万円、電子記録債務が31百万円増加したこと等によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べて3億48百万円増加し102億52百万円となり、自己資本比率は72.1%となりました。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ54百万円増加し、47億71百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、3億33百万円（前年同四半期は4億33百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6億1百万円があった一方、売上債権の増加額1億36百万円、法人税等の支払額1億55百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、2億21百万円（前年同四半期は3億90百万円の獲得）となりました。これは主に定期預金が1億円純減した一方、有価証券及び投資有価証券が3億9百万円が純増したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、58百万円（前年同四半期は52百万円の使用）となりました。これは主に配当金の支払額57百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月24日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,727,431	6,682,132
受取手形及び売掛金	1,859,654	1,859,504
電子記録債権	185,657	340,027
有価証券	502,386	597,737
商品及び製品	837,048	851,933
仕掛品	80,965	83,127
原材料及び貯蔵品	249,819	262,502
繰延税金資産	110,461	89,442
その他	62,723	82,122
貸倒引当金	△4,389	△3,760
流動資産合計	10,611,758	10,844,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	351,835	342,130
土地	1,346,573	1,346,573
その他(純額)	80,357	93,228
有形固定資産合計	1,778,766	1,781,932
無形固定資産		
ソフトウェア	11,195	8,757
ソフトウェア仮勘定	—	2,446
その他	4,492	4,492
無形固定資産合計	15,688	15,695
投資その他の資産		
投資有価証券	506,875	725,032
繰延税金資産	116,131	117,902
保険積立金	171,092	172,292
その他	47,722	46,800
貸倒引当金	△3,564	△3,564
投資その他の資産合計	838,257	1,058,463
固定資産合計	2,632,712	2,856,091
資産合計	13,244,470	13,700,862

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	810,006	887,333
電子記録債務	593,599	624,673
未払金	56,582	57,161
未払法人税等	179,895	188,474
賞与引当金	237,870	160,679
その他	196,145	210,916
流動負債合計	2,074,099	2,129,238
固定負債		
役員退職慰労引当金	414,040	429,016
退職給付に係る負債	291,456	307,631
繰延税金負債	87,581	95,127
その他	473,431	487,045
固定負債合計	1,266,510	1,318,820
負債合計	3,340,609	3,448,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	787,299	787,299
資本剰余金	676,811	676,811
利益剰余金	8,981,598	9,306,872
自己株式	△972,836	△973,633
株主資本合計	9,472,871	9,797,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,300	74,938
その他の包括利益累計額合計	68,300	74,938
非支配株主持分	362,687	380,514
純資産合計	9,903,860	10,252,802
負債純資産合計	13,244,470	13,700,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月21日 至平成28年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月21日 至平成29年10月20日)
売上高	3,845,600	4,084,241
売上原価	2,267,825	2,423,338
売上総利益	1,577,775	1,660,902
販売費及び一般管理費	1,036,228	1,064,401
営業利益	541,546	596,501
営業外収益		
受取利息	1,580	1,278
有価証券利息	1,551	1,354
受取配当金	2,382	2,398
不動産賃貸料	174	152
その他	11,386	1,741
営業外収益合計	17,076	6,925
営業外費用		
支払利息	166	164
売上割引	555	505
営業外費用合計	721	670
経常利益	557,901	602,755
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1,249
特別損失合計	—	1,249
税金等調整前四半期純利益	557,901	601,505
法人税、住民税及び事業税	151,106	176,814
法人税等調整額	28,639	23,882
法人税等合計	179,745	200,696
四半期純利益	378,156	400,809
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,129	17,826
親会社株主に帰属する四半期純利益	361,026	382,982

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月21日 至平成28年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月21日 至平成29年10月20日)
四半期純利益	378,156	400,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,181	6,637
その他の包括利益合計	△2,181	6,637
四半期包括利益	375,974	407,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	358,845	389,620
非支配株主に係る四半期包括利益	17,129	17,826

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月21日 至平成28年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月21日 至平成29年10月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	557,901	601,505
減価償却費	24,605	33,665
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,063	16,174
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14,994	14,976
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△77,461	△77,190
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△138	△628
受取利息及び受取配当金	△5,515	△5,031
支払利息	166	164
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1,249
売上債権の増減額 (△は増加)	378,415	△136,802
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△134,961	△29,730
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,489	87,471
その他	△70,330	△26,861
小計	691,250	478,962
利息及び配当金の受取額	10,376	10,051
利息の支払額	△33	△35
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△268,448	△155,333
営業活動によるキャッシュ・フロー	433,144	333,644
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,001,000	△1,901,000
定期預金の払戻による収入	2,201,000	2,001,000
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△198,361	△609,833
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	400,020	300,000
有形固定資産の取得による支出	△6,115	△8,863
無形固定資産の取得による支出	△1,734	△2,446
保険積立金の積立による支出	△1,200	△1,200
その他	△2,483	486
投資活動によるキャッシュ・フロー	390,125	△221,855
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△446	△796
配当金の支払額	△52,465	△57,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,912	△58,498
現金及び現金同等物に係る換算差額	△483	1,411
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	769,874	54,700
現金及び現金同等物の期首残高	3,066,780	4,716,431
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,836,655	4,771,132

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月21日 至 平成28年10月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学 機器設備	保健医科 機器	産業用 機器			
売上高						
外部顧客への売上高	2,235,725	899,354	710,520	3,845,600	—	3,845,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,235,725	899,354	710,520	3,845,600	—	3,845,600
セグメント利益	315,235	166,710	76,087	558,032	△130	557,901

(注) 1 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しないものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月21日 至 平成29年10月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学 機器設備	保健医科 機器	産業用 機器			
売上高						
外部顧客への売上高	2,360,974	865,163	858,103	4,084,241	—	4,084,241
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,360,974	865,163	858,103	4,084,241	—	4,084,241
セグメント利益	348,087	147,045	107,107	602,239	515	602,755

(注) 1 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しないものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。